

<<<<< 競技注意事項 >>>>>

1. 競技規則について

本競技会は、2024年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則ならびに本競技会申し合わせ事項によって実施する。

2. 練習場所および選手控え場所について

(1)ウォーミングアップは、競技ならびに審判の妨げにならないよう実施する。主なウォーミングアップ場所は以下のとおりとする。

- ・100m競技中 …… バックストレート(逆走使用時は、ホームストレート)
- ・3000m競技中 …… バックストレート5～8レーン(スタート時は3000mスタート付近は禁止とする。)
- ・走幅跳 競技中 …… バックストレート
- ・砲丸投・円盤投 競技中 …… トラック全周

(2)投てき競技の練習は、危険防止のため空き地での練習は禁止とする。

(3)選手控え場所はスタンドおよび芝生席のみとし、競技場内(更衣室を含む。)は禁止とする。

3. 招集方法について

(1)招集は、トラック競技は招集場(100mスタート付近倉庫内)、フィールド競技は競技場所にて行う。

(2)招集完了時刻は、その競技開始時刻を基準とし、トラック競技は20分前、フィールド競技は10分前で完了する。

4. アスリートビブス(登録番号)ならびに腰ナンバー標識について

アスリートビブスは、2024年度日本陸上競技連盟登録番号を使用し、競技中は胸部と背部にはっきり見えるように付けなければならない。跳躍競技の競技者は、胸部または背部のみに付けるだけでよい。

5. 競技について

(1)反スポーツマンシップ行為等を行った競技者には、警告あるいは失格となる場合がある。また、場合によっては、本競技会から除外される。

(2)スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)を与えられることがある。本競技会では、同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格(レッドカード)とする。ただし、本競技会では累積しない。

(3)フィールド競技の試技は、最大6回とする。

6. 競技用具等について

(1)競技に使用する用器具は、原則として主催者が準備したものを使用しなければならない。

(2)投てき用具は、個人所有の持ち込みを認める。ただし、希望者は、招集完了の際に検査を受け、合格した用具に限り使用することができる。また、検査に合格した用具は一括借り上げし、競技者全員で使用できるものとする。

(3)スパイクの数は11本以内、長さは9mm以内とする。なお、走高跳およびやり投はスパイクの長さは12mm以内とする。また、スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。

(4)靴底の最大の厚さは、フィールド競技は20mm以内、800m未満のトラック競技は20mm以内、800m以上のトラック競技は25mm以内でなければならない。

(5)競技前、競技中に競技役員が疑義を抱いた競技用靴は、競技終了後に審判長の権限で検査を行うことがある。

7. その他

(1)天候・出場人数およびその他の状況により、競技開始時刻・組編成等の変更をする場合がある。その場合は、アナウンス等にて連絡をする。

(2)各競技の競技結果は、アナウンスおよびウェブサイトにて行う。

(3)貴重品類等は各自で管理し、万一の紛失・盗難にあっても主催者は責任を一切負わない。

(4)本競技会に関わるすべての人に対し、競技中に発生した傷害・疾病については、傷害保険の加入範囲内および現場での応急処置以外の責任は一切負わない。なお、応急処置後の治療は個人の負担とし、主催者は責任を一切負わない。また、競技会に関わるすべての人の感染に対するいかなる責任を主催者は一切負わない。

(5)プログラム記載事項に訂正がある場合は、出場種目の招集開始時刻前までに競技者本人もしくは代理人が大会本部に申し出て、訂正手続きを書面にて行うこと(手続き用紙は大会本部にて用意する。)